

創設60周年 記念式典・記念行事

経営学部は2013年11月30日、「創設60周年記念式典・記念行事」を駿河台キャンパス・アカデミーホールで挙行了。国際シンポジウムや記念講演、学部生による成果発表会、経営者フォーラムなど多彩な行事が三部形式で催され、学部のこれまでの歩みを振り返るとともに、世界への飛躍に向けた新たな門出を盛大に祝した。





第一部 国際シンポジウム

第一部では、経営学部が独自に協定を締結している海外協定校の研究者を招聘しての「国際シンポジウム」を開催。井洋次郎教授の司会のもと、安部悦生学部長と各国の研究者の5人のパネリストが『Future of Business Education and Research (ビジネス教育と研究の未来)』をテーマに、活発なプレゼンテーションや意見交換を行った。



シンポに参加した各国の研究者

第二部 記念式典、記念講演

午後からの第二部は、「記念式典」と「記念講演」。岡田浩一経営学科長（創設60周年記念事業実行委員会委員長）が司会を務めた記念式典では、千葉貴律会計学科長の開式の辞に続き、安部学部長が「私立大学初の経営学部としての60年の歴史は、諸先輩やOBの努力なしには達成できなかったものである。本学部では『豊かな国際国家・日本』を目標に掲げており、経営学教育・研究のパイオニアとして、今後も国際化を推進していく」と式辞を述べた。

続いて、福宮賢一学長が「経営学部の今日の名声は、社会の多様な場面において卒業生が活躍し、注目されている結果である。経営学部には、本学の今後の発展を支える原動力としての役割を期待している」と挨拶し、日高憲三理事長は「創設者である佐々木吉郎先生をはじめ、多くの人々がこれまで様々な改革を進めてきた。今後は60年の伝統を生かして、世界に光り輝く明治大学の経営学部として発展するよう一層の努力をお願いしたい」と祝辞。塚本一郎公共経営学科長の閉式の辞で式典は終了した。



祝辞を述べる日高理事長



挨拶に立つ福宮学長



式辞を述べる安部学部長

記念講演では、経営学部OBでセーレン株式会社代表取締役会長兼社長（最高経営責任者兼最高執行責任者）の川田達男氏が『企業経営の実践と経営学教育』と題して講演。川田氏は学生時代のエピソードも交えながら、繊維業界や会社業績の低迷という厳しい状況の中、47歳で経営者となり、同社を世界的企業へと飛躍させた経緯を紹介。「セーレンという企業から、今後の経営学を考えてもらえれば」と締めくくり、大きな拍手を浴びた。



自らの経営哲学を力説する川田氏

第三部 経営学部生による成果発表会、経営者フォーラム

休憩をはさんでの第三部では、「経営学部生による成果発表会」と「経営者フォーラム」を開催。成果発表会では、今年度開催された「経営学部英語プレゼンテーション大会」と「経営学部ゼミナール対抗プレゼンテーション大会」の優秀者が、来賓らを前にそれぞれ力強く発表を行った。



プレゼンテーション大会の優秀者たち

ゼミでの成果発表を行う学部生

『経営者に求められる資質』と題した経営者フォーラムでは、長野史麻准教授の司会のもと、青柳勝栄氏 (Blue Green Group Inc. 代表取締役社長、本学評議員)、向井眞一氏 (株式会社内田洋行相談役、本学理事)、中村謙一氏 (株式会社リロ・ホールディング代表取締役社長)、須田善明氏 (宮城県女川町長) の経営学部OB4人が、経営者や組織トップとしての経験を踏まえ、発言や意見交換。記念式典・記念行事は盛会のうちに終了した。



宮城県女川町の須田町長も参加

